

令和6年度 決算

令和6年度の市の決算（見込み）がまとまりました。今後、監査委員の審査を経て市議会で認定を受けます。決算資料は、アオーレ長岡1階の行政刊行物コーナーや各支所情報公開コーナーで9月上旬（予定）から閲覧できます。

図財政課 ☎39・2209

一般会計

福祉や子育て、教育、まちづくりなどの一般的な行政サービスを行う会計

歳入 1,430億8,881万円
歳出 1,370億6,259万円
繰越財源※ 10億1,346万円

差し引き 50億1,276万円

※令和7年度に繰り越す事業で使います

いくらある？市の貯金と借金

貯金 148億 47万円
(基金残高) 【前年度比▲10億4,013万円】

市民1人当たり換算 5万8千円
【前年度比▲3千円】

借金 1,508億6,910万円
(市債残高) 【前年度比▲39億2,264万円】

市民1人当たり換算 59万1千円
【前年度比▲8千円】
【県内20市平均：68万7千円
(令和5年度末)】

こんなことに使いました

災害に強く誰一人取り残さない
安全安心なまちづくり

- ・津波対策や地域防災力を強化
- ・ひきこもり相談・支援の充実 など



「新しい米百俵」による人材育成と産業振興

- ・中学校の休日部活動地域移行を準備
- ・市内企業のデジタル化とDXを支援 など

長岡を元気にする活動の
推進と魅力の発信

- ・悠久山公園の整備
- ・あらゆる分野での女性活躍を推進 など



？ お金を借りるのはどんなとき？

多額の費用がかかる公共施設や道路を整備するときです。一括で支払うと他の行政サービスに影響するため、「市債（借金）」を発行して10～20年かけて分割で支払います。施設を将来利用する人も含めて、世代間の費用負担を平準化することにもつながります。

特別会計 保険料や使用料などで支出を賄う会計

会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	227億8,779万円	225億8,105万円	2億 674万円 ※1
国保寺泊診療所	8,438万円	8,438万円	-
後期高齢者医療	37億4,427万円	37億3,872万円	555万円
介護保険	296億4,112万円	286億1,661万円	10億2,451万円 ※1

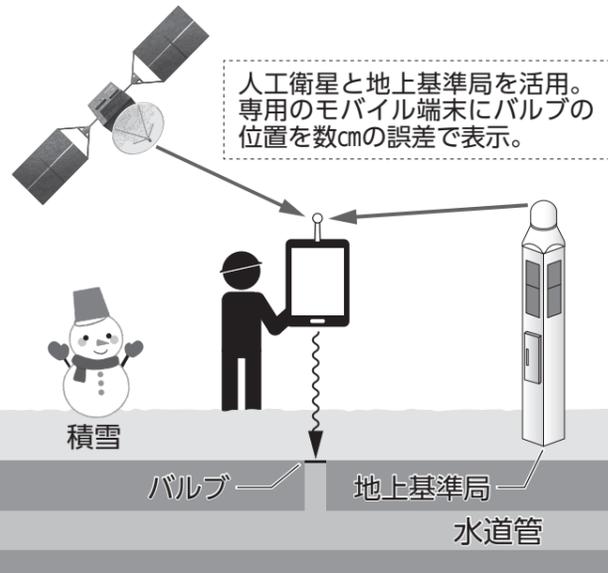
※1 国や県から受け取る補助金が多かったことなどによるものです。令和7年度以降に精算します

企業会計 上下水道料金などで支出を賄う会計

区分	収入	支出	内部留保資金による補てん	差し引き
下水道事業	収益的収支 100億 724万円	98億7,428万円	-	1億3,296万円
	資本的収支 31億4,104万円	65億4,806万円	34億 702万円	-
水道事業	収益的収支 58億2,308万円	49億 253万円	-	9億2,055万円
	資本的収支 12億6,145万円	47億1,126万円	34億4,981万円	-
簡易水道事業※2	収益的収支 5億5,586万円	4億8,520万円	-	7,066万円
	資本的収支 1億7,931万円	3億9,324万円	2億1,393万円	-

※2 山古志・小国・栃尾・川口の一部地域へ供給する、給水人口が5千人以下の小規模な水道事業です

？ 特別会計や企業会計は保険料や上下水道料金だけでやりくりしてるの？
人件費や事務費、不足が見込まれるときの費用などは一般会計からの繰入金も使っています。



漏水対応がより迅速に進む水道事業DX

図水道局工務課 ☎34・1414

大正15年の給水開始から来年で100年を迎える長岡の水道。設備の老朽化や人口減少による収益力の低下などの課題に直面しています。市はこれらに対応するため、先進技術を活用。令和5年度には、漏水調査にAI技術を取り入れるなど、施設管理の効率化や経費の削減を行いました。

バルブ位置の把握新システムで正確に

こうした中、降り積もった雪の上からでもバルブの位置を探し出せるシステムの開発

に着手しました（左上画像）。これまで図面や職員の経験則で行っていたバルブ位置の特定に、地上基準局などの観測施設を活用。作業時間が大幅に短縮され、積雪地域で漏水が起きても速やかに対応できるようになります。

また、5月から掘削工事に伴う手続きをオンライン化。水道管や電力線などインフラごとに必要だった事業者の申請が、24時間いつでも一括で行えるようになりました。今後も新技術などを利用して、安全・安心な水道を未来につないでいきます。

▶雪に埋もれたバルブを操作する職員。正確なバルブ位置の特定が困難で、積雪の多い場所では発見までに3時間以上かかることも



水道料金の見直しに着手します

水道管の老朽化が進む中、水道を維持するには多額の更新費用が必要です。このため、水道料金の見直しに向けた検討に着手します。詳しくは同時配布の「水道だより特別号」をご覧ください。

図水道局業務課経営企画室 ☎38・8544

アルビBB 健闘のシーズンを報告



アオーレ長岡をホームアリーナとする新潟アルビレックスBBが市長を訪問し、2024-25シーズンの成績を報告しました。

B3リーグで戦った今季は、B2昇格まであと一步となるプレーオフ4位と健闘。また、シーズンを通しての平均観客数が、B3で最多となる2,511人を記録しました。

五十嵐圭選手が「ブースターがもう一度応援しようと思うチームになったのではないかと今季の手応えを話すと、鶴澤潤ヘッドコーチは「来季は優勝を目指す」と意気込みました。（5月23日）

終戦80年 共演で深まる姉妹都市の絆



終戦80年を記念して、姉妹都市・ホノルル市の合唱団「HEARTS」と長岡少年少女合唱団が6月14日、リリックホールでジョイントコンサートを開催。10年

続く相互交流の絆をさらに深め、平和への想いを歌声やフラダンスなどに込めて観客に届けました。

また、両合唱団の交流を支援する長岡市国際交流協会が5月30日、「自治体国際交流表彰（総務大臣賞）」を受賞。青少年交流に特化して事業を続けてきたことや、平和をテーマに独自の交流を行ったことなどが評価されました。